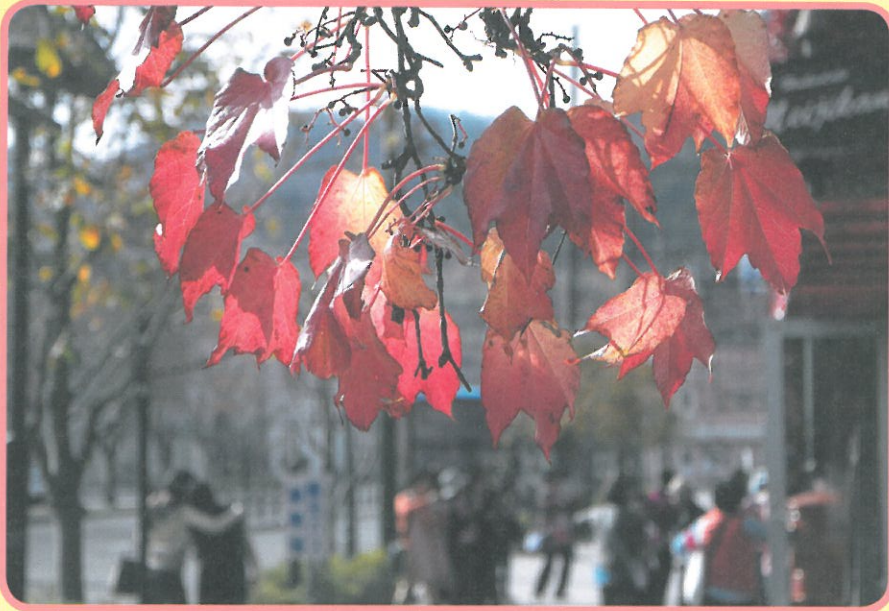


はこだてでシルバーだより



佐々木 紀代彦会員



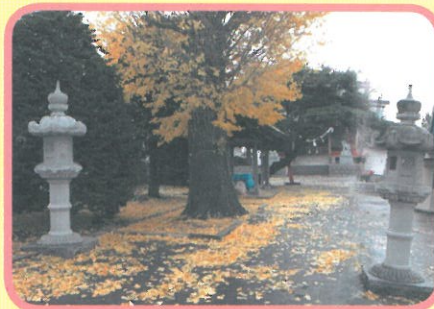
阿久津 貞夫会員



佐々木 紀代彦会員



栄田 武志会員



林 英男会員

写真同好会作品

「冬近し」

平成 26 年 12 月号



冬号

No.101

● “手” が足りない。そんな時はシルバー人材センターへ！

シルバー人材センターの親切・丁寧・確実な仕事振りは必ず皆様のお役に立ちます。

豊かな経験と能力を生かし、幅広いお仕事をいたします！

函館市若松町33番6号（函館市総合福祉センター 2階）

電話（0138）26-3555

FAX（0138）23-7531

E-mail：hakosc@sjc.ne.jp

「第四回理事会」報告 十月二十九日開催

★報告事項

- (1) 正特会員及び賛助会員の入会について
- (2) 事業運営状況報告について
- (3) 正副理事長及び常務理事の自己職務執行状況報告について
- (4) 函館市への支援要請について
- (5) 旅行会について
- (6) シルバー人材センター事業普及啓発月間について

★協議事項

- (1) 平成二十七年度函館市への補助金要望(案)について
- (2) 派遣事業への取り組みについて
- (3) 長期就業規程(案)及び取扱要綱(案)の一部改正について
- (4) 長期就業募集要領(案)について
- (5) 役員による就業開拓について

以上報告事項六件と協議事項五件を審議し、承認されました。

◎主な内容は次のとおりです。

- 九月末現在の正特会員は九百八十一名、賛助会員は五十五団体となっております。
- 事業運営状況(九月末現在)の

中で▼事故関係は、傷害六件、賠償四件、合計十件発生し、対前年度と比べ五件減少。会員の安全意識の高揚によるものですが、自動車運転業務では不注意による事故が増えています。

▼事業実績は、二億五百三十九万円対前年度と比較して九十七・六%となり、その要因は療育自立支援センターの運転業務等の減によるものです。

● 函館市への支援については、来年度の補助金と公共事業の発注量を今年度以上に確保するよう要請しました。

● 旅行会は、青森県の「まかど温泉」へ三十三名が参加し、ホテル自慢の料理を満喫しました。

● シルバー事業の普及啓発の中で

▼「高齢者雇用就業パネル展」を十月十四日から四日間開催、来場者は昨年を上回る千五百四十名が訪れました。▼「清掃奉仕・街頭啓発活動」は、十月十八日に実施し、「清掃奉仕」は会員・役員二百六名が参加、

「街頭啓発」は役員が分担して刃物研磨等のチラシ・リーフレットを配布し、センターのPR活動を行いました。▼「地区

懇談会」は、会員からいろいろな質問・意見等の発言があり、会員はシルバーでの問題意識を共有しました。

● 函館市への補助金要望(案)については、補助金の厳しい交付要件の中で今年度と同額の補助金を要望しました。

● 派遣事業については、厚生労働省が来年度の補助金要件を大幅に変更する予定であり、補助金絶対確保のために派遣事業に取り組むことにしました。具体的な事業実施は、申請・承認後となります。

● 長期就業規程(案)等の一部改正については、▼「就業最終年齢」を全業務とも七十五歳に改め、自動車運転業務のみは七十二歳としました。▼「就業期間」は、四年間に統一しました。

● 役員による就業開拓は、十二月八日から五日間、新規開拓及び既発注者に対する継続支援の要望のため企業訪問します。

なお、第三回理事会は、九月十六日北海道への変更認定申請の提出について緊急性を勘案し、書面による手続を経て全理事・監事の承認を得て処理しました。

就業委員会報告

第一回就業委員会は、十月九日(木)十三時三十分から、①長期就業規程の改正について②募集要領について③交替会員について協議し、承認されました。内容は次のとおりです。

● 長期就業の規程の改正については、会員の減少や就業に対する意識の変化等により、充足及び補充が難しい業務が増えていることから、改正することとした。

改正内容は、

- ① 就業最終年齢を七十五歳に統一(運転業務は七十二歳)
- ② 長期終了後一年経過した会員は同業種に応募可能
- ③ 長期就業期間を一律四年間としました。

● 募集については、十一月二十一日を締め切り日として、十二月には説明会と面接を実施します。

● 平成二十七年度の募集人数は、男性七十名、女性十三名の計八十三名です。

就業委員会の検討結果については、十月二十九日開催の第四回理事会においても承認され、全会員に対して周知しました。

地区懇談会 市内四力所で実施

例年実施している地区懇談会が、十月九日(木)、市民会館(七ノ十地区)を皮切りに十月二十四日(金)の総合福祉センター(一ノ五地区)まで四会場で合計百六十三名の会員が出席して開催されました。

各会場とも会議の進行は地区長さんが行い、坪谷事務局長の挨拶に続き、各地区長、事務局担当職員の紹介があり議事に入りました。



事務局と会員さんが直接意見を交わすことのできる機会でもあり、近年事業高の減少、除草や剪定会員の高齢化など様々な問題に直面しているセンターとしては毎回会員さんの忌憚らない意見を楽しみにしています。内容は次のとおりです。

シルバー人材センターの現況について

(1)事業実施状況(四ノ九月)について

事務局より、事業高が対前年度比減の理由は自動車運転業務、剪定会員の体調不良による受注制限、

公共施設の管理業務の減少や昨年七月の選挙看板設置業務などがマイナスとなっている中、機械除草業務、家事手伝い等は増加傾向にあり、就業率も会員数が減少しているものの、今年度は若干上回っているとの説明があり、夏の蜂・毒蛾刺されの他、交通事故が二件発生しているのに注意を喚起しました。



(2)事務局からのお知らせ

- ・就業報告書の提出期日(翌月三日)について
- ・配分金支払日(毎月二十日)の確認
- ・就業途上、就業中の事故
- ・冬期間の二輪車使用禁止の注意
- ・発注者への対応
- ・就業情報(除雪作業、長期就業等)
- ・各種行事の報告と今後の予定
- ・シルバー事業PRのお願い

意見及要望について

就業について:八件

会員の入会促進について:三件
その他:九件

・チラシ配布の際、事務局にチラシをとりに行く分は交通費が支給されるが、残ったチラシを置きに行く際は支給されない。改善はできないのか。

↓発注者はチラシをすべて配布してほしいとの考えであり返却は想定していないため戻す際の交通費は確認していないが、実態を説明し理解を得るようになりたい。

・就業報告書を提出期限までに持つて行けない場合、FAXで送信した後本書を郵送または持参することで良いのではないか。

↓FAXで報告後、本書を早急に郵送していただけたら問題はない。

・高齢化社会を迎え、介護、子供の世話などの地域要望があると思うので検討願いたい。

↓当市も超高齢化社会となり介護等の希望はあるが、会員の減少傾向から受注制限をせざるを得ない状況となっており、確実に就業可能な会員がいなければ対応できないことを理解願いたい。



・団塊世代の多くが会員対象者と考えているが、なぜ会員の増につながらないのか。

↓①年金改革による

定年制の延長、生活に余裕のある方は趣味等を中心に楽しんでいること。

②新聞広告を掲載したところ、いつもは二十名程度の入会登録説明会に五十名以上が出席したことから、シルバー人材センターの周知不足である。

③主要業務である屋外関連作業について希望しない方が多い。

・就業開拓専門員の活動状況をお願いしたい。

↓各町会事務所等へポスター、リーフレット、名刺を持参し会員募集に取り組んでおり、約百町会事業所を訪問したほか、市民へのPRとして公園管理事務所へポスター掲示を依頼した。

現在、企業・団体への飛び込み訪問は五百件程になった。

紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできませんが、今後の事業運営に生かしていくよう努めていきます。



安全・適正就業委員会「コーナー」

安全巡回パトロール実施報告

今年度の巡回日は七月二日、三十日、八月六日、二十一日の四日間、安全・適正就業委員が九カ所を事前予告なしで点検しました。

巡回後の八月二十七日に第三回安全・適正就業委員会が開催され、各委員が安全点検の結果と安全対策について意見交換しました。

◆剪定・除草(一カ所) 作業中にヘルメットの着帽を指導した。作業現場が斜面のため三点梯子の使用方法について注意喚起し、道路面での作業は車両が通行するのでカラーコーンの設置を指導した。

◆機械除草(四カ所) ヘルメットやフェイスマスク等保護具の装着を指導した。飛散防止ネットの設置が適切で刈り方も丁寧であった。

◆公園維持管理(一カ所) 蜂や異常発生した毒蛾対策のため、虫除けの装備と服装に配慮されていた。

◆屋内清掃(一カ所) 新入会員に対する指導が徹底され、作業手順が良好であった。

◆発泡溶解処理(一カ所) 就業後

平成二十六年 安全標語最優秀賞

「安全はルール厳守と思いやり 地域に貢献 明るいシルバー」

野尻 勉 会員

のため、現場の状況確認のみ点検

◆公園清掃(一カ所) 季節ごとの作業説明の中で、秋の落ち葉清掃と冬の除雪作業は敷地が広大で大変な業務であるが、寒さ対策など健康管理に努めています。

事故発生状況

十一月末現在、十七件の事故が発生しました。「傷害事故」は六件で前年同期より二件の減少です。前年度まで増加傾向にあった「賠償事故」は五件に半減しました。

要因として、機械除草班が飛散防止ネットの見直しを行い、材質の強化と使用の徹底をしたことによるものと思われます。「その他の事故」は六件で前年度の二件を大きく上回っております。自動車運転業務中に発生した、接触事故が四件あり、冬場を迎えスリップ事故等の発生が懸念されます。ハンドルの握ったら常に緊張感をもって運転に心掛けましょう。



笑顔も我が街もピッカピカ! 清掃奉仕活動実施!



秋晴れの中、10月第3土曜日の「シルバーの日」18日には函館市民のシルバー事業へのご理解、ご協力に感謝を込め、市内5カ所で毎年恒例の秋の清掃奉仕活動を総勢206名で実施いたしました。

毎回感心するのは、参加する会員さんがみんな笑顔で清掃していることです。理由を聞くと、生まれ育った大好きな街をきれいにするのだから笑顔になって当然…とのこと。その言葉通り、1時間弱の活動のあとはさらなる笑顔できれいになった街を眺めて家へ向かいました。

参加した皆さんお疲れ様でした!



函館駅周辺 (57名参加)

鍛神小学校周辺 (48名参加)



亀田中学校周辺 (33名参加)



市民会館周辺 (40名参加)



高年齢者雇用就業パネル展

十月の普及啓発促進月間に合わせて今年も「高年齢者雇用就業パネル展」が十月十四日(火)から十七日(金)までの四日間、市役所一階市民ホールで開催されました。

このパネル展は日頃のセンターの活動内容を市民に紹介する普及活動の一環として今年で二十九回目を数えました。

この期間中の来場者は千五百四十名(昨年は千二百六名)で多くの来場者が訪れ、熱心に作品を鑑賞しながら満喫していました。

作品としては、絵画、書道、松ぼっくりで作られたかわいらしいオブジェや数々の手工芸品、陶芸、写真同好会が撮影した写真など、どれも会員の技を凝縮した作品やサン・リフレ函館が主催する水彩画教室の受



講生が描いた作品など一〇〇点以上が並びました。作品以外にも会員の就業の取り組みやボランティア活動などを写真で紹介しておりました。

見学者からはどれもすばらしい作品ばかり、一生懸命作った気持ちが伝わってくるとお褒めの言葉をいただきました。

また、シルバー会員の入会や、水彩画教室の受講方法、切手貼り絵、松ぼっくり工芸の作成手法など相談、照会があるなど反響の大きさが印象的でありました。今回も、北海道新聞、函館新聞が取材に訪れ、記事が掲載された相乗効果もあり、大勢の市民の方に足を運んでいただきました。今回のパネル展に出品、ご協力をいただいた会員、講座関係者の皆様ありがとうございました。

見学者からはどれもすばらしい作品ばかり、一生懸命作った気持ちが伝わってくるとお褒めの言葉をいただきました。

また、シルバー会員の入会や、水彩画教室の受講方法、切手貼り絵、松ぼっくり工芸の作成手法など相談、照会があるなど反響の大きさが印象的でありました。今回も、北海道新聞、函館新聞が取材に訪れ、記事が掲載された相乗効果もあり、大勢の市民の方に足を運んでいただきました。今回のパネル展に出品、ご協力をいただいた会員、講座関係者の皆様ありがとうございました。

見学者からはどれもすばらしい作品ばかり、一生懸命作った気持ちが伝わってくるとお褒めの言葉をいただきました。

また、シルバー会員の入会や、水彩画教室の受講方法、切手貼り絵、松ぼっくり工芸の作成手法など相談、照会があるなど反響の大きさが印象的でありました。今回も、北海道新聞、函館新聞が取材に訪れ、記事が掲載された相乗効果もあり、大勢の市民の方に足を運んでいただきました。今回のパネル展に出品、ご協力をいただいた会員、講座関係者の皆様ありがとうございました。



見学者からはどれもすばらしい作品ばかり、一生懸命作った気持ちが伝わってくるとお褒めの言葉をいただきました。

また、シルバー会員の入会や、水彩画教室の受講方法、切手貼り絵、松ぼっくり工芸の作成手法など相談、照会があるなど反響の大きさが印象的でありました。今回も、北海道新聞、函館新聞が取材に訪れ、記事が掲載された相乗効果もあり、大勢の市民の方に足を運んでいただきました。今回のパネル展に出品、ご協力をいただいた会員、講座関係者の皆様ありがとうございました。



街頭啓発活動

～シルバー人材センターをPR～

10月18日(土)清掃奉仕活動終了後、役職員が函館駅前・五稜郭・美原の各地区に分かれ、街頭普及啓発活動を実施しました。

シルバー人材センターの組織・日常の活動等を、できるだけ多くの市民の皆さんに知っていただくために、センターの「案内や仕組み・受注可能な仕事の分野等」をまとめた2種類のリーフレットや11月から5日間実施する「刃物研磨・まな板削り」のチラシ、ポケットティッシュを通行する一人ひとりに声をかけながら手渡し、センターのなご一層の理解と関心を深めるPR活動を行いました。

通行人の中には、「自分が障害者で窓ガラスの掃除ができない、シルバーでできるか」と相談を受けるなど街頭啓発活動の宣伝効果を強く感じました。

函館駅前地区



五稜郭地区



美原地区



会員厚生部会つコーナー

馬門温泉へ行くこう!

〜疲れを癒すくつろぎの旅〜

10月6日(月)
10月7日(火)



今回の旅行は、二年振りの青森県、日頃の疲れを癒してゆっくりすることを目的にプランをたて、馬門温泉へ渡りました。あいだみつおの詩



しあつたりしてスーパードライの到着を待ちます。林課長の見送りを受けて列車に乗り込

があふれ、洗練された隠れ宿のような山奥の素敵なホテルで、三十三名という少人数ながらアットホームでとても楽しい旅行となりました。

❀一日目❀

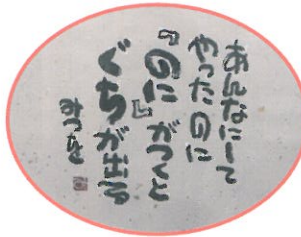
集合時間の九時半までに参加者全員笑顔で集合、昼食用にと駅弁を購入したり、仲間と近況を報告



雨模様、足早に昼食場所の八甲田丸まで向います。昼食をとったあとで連絡船就航当時の青森駅前の活気ある様子を船内のジオラマで見学し、みんな懐かしさに声をあげていました。



二時間弱の列車での旅を終え、青森駅に降り立つと天気は一転



むと、早速缶ビールを開け飲む人、隣に座った人と会話をしている人、どの席からも楽しげな雰囲気伝わってきます。

出、終了時間になっても申し込みが絶えませんでした。坪谷事務局長の乾杯でひとまず懇親会を終了し、歌い足りない、飲み足りないとい



次の見学先のワ・ラッセではねぶたの美しさに息を飲み、その後まかど観光ホテルさんが用意してくれた

初めに見学場所を最低限におさえ、遅めの出発・早めの帰函を計画しました。添乗員さんのいない不安もありましたが、参加した会員さんの笑顔で全てが良い思い出となりました。年々参加者が減少している各種行事ですが、今後も楽しんでもらえるように工夫してまいりますので、よろしくお願ひします。

前日の雨が嘘のような晴天の中、八時五十分にはホテルの玄関前に集合し、今回三度目となる集合写真を撮影して新青森駅へ向かいます。駅では持ちきれないほどのおみやげを購入し、列車へ乗り込みます。今回は、青森駅で弁当とお茶を積み込み、車内で昼食をとり、事故もなく怪我もなく午後一時四十二分、無事函館駅に到着しました。

❀二日目❀

この見学先のワ・ラッセではねぶたの美しさに息を飲み、その後まかど観光ホテルさんが用意してくれた



会員の集い開催!

去る十一月二十一日(金)、「会員の集い」に八十一名が参加して湯の浜ホテルで開催されました。



喜寿のお祝い

渡部理事長の挨拶に続いて、喜寿の方三名にお祝いの品が渡されました。その後、片柳副部会長の『いただきます』の発声でお弁当を食べながら歓談し、近況を報告し合う姿も見受けられる中、ラッキー賞の発表です。お弁当箱の下にラッキー賞と書いた紙が置いてあった七名に景品を渡し、余興が始まりました。カラオケは当初十四名が申し込んだおりましたが、飛び込みを希望する会員さんに時間の許す限り



ラッキー賞

おひねり
ありがとう!



あら不思議!
水に色が!

インドから
来ました!

さらに会員の集いでは久々のマジックショーもあり、インド人もびっくり! コップに注いでも注いでも水が出てくる壺と、コップに注ぐと色の変わる水に全員驚きをかくせません。拍手喝采で終了し、カラオケに戻った後、これもまた恒



いい声だね~!

歌っていただきました。みんなとてもりのりで、まるで歌謡ショーのようでした。第一部のカラオケ終了後、恒例の持ち物検査をし、歓声とため息の中、よくぞ持っていましたというサンダラスを持っていたチーム六名が勝ち抜き笑顔で景品を受け取りました。



まあ一杯どうぞ



持ち物検査優勝!

例の北海盆唄で輪になって踊り、楽しい時間もつかの間、中田副理事長の挨拶で幕を閉じました。



いい笑顔だね~!

一月の新年懇親会は、今回参加できなかった方も、是非皆さんお誘い合わせのうえ、参加いただきますよう事務局一同心よりお待ちしております。

新年懇親会 (案内)

平成二十七年新年懇親会を次のとおり開催いたします。詳細は地域班を通して案内いたしますので、どうぞお誘い合わせのうえ参加願います。

日時 平成二十七年一月二十二日(木)
午後六時より
会場 湯元 啄木亭
会費 五,五〇〇円

企画提案方式事業 「はこシル・エコロジー」事業報告

十月三十一日より「はこシルエコロジー」たい肥、腐葉土の販売を開始しました。約千袋のたい肥と腐葉土は、来年の農作業等に向け、たくさんの方々に購入していただき、販売から一カ月でほぼ完売しました。



これからは、来年の販売に向けて、この一年半で培った技術と能力を生かしてさらに良質なたい肥と腐葉土の作製に力を入れていきたいと思えます。

冬休みものづくり体験のお知らせ

①一月八日(木)十三時三十分

「牛乳パックで妖怪ウオッチの指人形を作ろう」とペットボトルで浮き沈みの実験をしよう

②一月十四日(水)十三時三十分

「スケジュール板とメモリースタンド付きペン立てを作ろう」

【対象】 函館市在住の小学生

【参加費】 三〇〇円

【場所】 函館市総合福祉センター

四階会議室

【申込先】 〇二三八―二六一三五五五

函館市シルバー人材センター 事務局

道南ブロック会議・職員研修会開催



道南ブロック会議での
渡部理事長・坪谷事務局長

の作成、会員増強や就業機会の拡大に向けて各センターの取り組み事例を基に具体的な説明があり、今後の事業運営にあたって非常に有意義な会議となりました。

なお、一般労働者派遣事業については、第四回理事会で承認され、現在、北海道労働局へ届出を行っております。

また、道南ブロック職員研修会が、去る十一月二十七・二十八日の両日、新ひだか町で七年振りに開催され、桑原主任、海老名事務員の二名が出席しました。

年にも一度、渡島・胆振・日高管内十一のシルバー人材センターが一堂に会して、去る十一月十三・十四の両日、苫小牧市で道南ブロック会議が開催されました。

会議は、会員や就業拡大に向け各センターが抱えている課題について共通認識を持って取り組むため開催されるもので、まず、道シ連から二十七年年度のシルバー事業関連予算の概要、特に補助金交付要件の変更点、百万人会員達成への現況、安全・適正就業の推進など説明を受けた後、派遣事業実施に係る現状や問題点について討議を行いました。

このほか、事業広報用のチラシ

職員研修会は、シルバー事業に取り組む中で疑問点や、処理方法など各センターでの状況を確認すること、今後の円滑な運営と効率化を目指して開催しております。

今回は、室蘭市の高山課長が会員及び就業拡大について、道南ブロックの先駆けとして派遣事業を推進している苫小牧市の福田課長から実践報告の後、熱心な討議が行われ、今後取り組み予定の派遣事業の実施に向け大いに参考となりました。

年末年始の休業期間と就業報告書提出について

就業報告書は、単発の仕事の場合、作業終了後速やかに提出いただき、継続就業をしている場合は、その月の分を翌月三日まで提出することになっております。

当センターの年末年始休業期間は、十二月二十九日～一月三日までです。

ただし、今年度は土日が入るため次のとおりとなりますので、十二月の報告書締切日と合わせて間違えのないよう確認願います。

仕事納め 十二月二十六日(金)

休業期間 十二月二十七(土)～一月四日(日)

仕事始め 一月五日(月)

報告書締切日 一月五日(月)必着

◆配分金支払日◆

十一月分 十二月十九日(金)

十二月分 一月二十日(火)

一月分 二月二十日(金)

二月分 三月二十日(金)

※銀行口座を変更した場合は速やかに事務局へ連絡願います。

あじがき

平成二十六年も残すところわずかとなりました。

▼日本は平均寿命が世界でもトップクラスの長寿大国ですが、残念ながら長寿者には認知症や寝たきりの方等が多く含まれています。

▼健康寿命を延ばすために運動は欠かせないと言われていきます。国立健康栄養研究所では、一日八千歩以上歩く人は高血圧・糖尿病・認知症・心疾患等の予防に繋がり、運動習慣のない人は体を十分間動かすこと(約千歩歩く運動量に相当する)を勧めています。

▼運動嫌いの私が定年退職後に血圧と不整脈を患い、二週間に一回の通院を余儀なくされましたが、家庭菜園とシルバー人材センターで体を動かす様になってから血圧が安定し、今では十一週間に一回になりました。

▼自力で暮らせる日々を一日でも長いことを誰でも願うところ、体を動かし健康寿命を延ばしましょう。何かと慌ただしい年の瀬でございますが、お元気で新年をお迎えください。

(齊藤)